## - 課題 14-1 -

プログラミング問題も含め、全てノートに解答すること。その際、関連資料を見ず、PCを使わず、誰にも聞かずに解答すること。解答後、ノートの該当部分を写真に撮り、PDF化(1ファイル化)して moodle で提出せよ。

## 問題

(1) input 文で自然数を入力し、以下のように表示するプログラムをノートに解答せよ。

数を入力して下さい:3 5 3 1

数を入力して下さい:5	
9	
7	
5	
3	
1	

(2) 二次方程式  $x^2+x-5=0$  の実数解  $\alpha,\beta(\alpha<\beta)$  のうち、解  $\beta$  の近似値を次の二分法のアルゴリズムで求めるとする。このとき下記の問いに答え、ノートに解答せよ。

STEP1: a= (i) , b= (ii) , c=(a+b)/2 とする。STEP2 へ進む。

STEP2:  $c^2+c-5 \neq 0$  かつ b-a>0.000002 ならば STEP3 へ進み、そうでなければ STEP4 へ進む。

STEP3:  $c^2+c+5>0$  ならば (iii) とし、 $c^2+c-5<0$  ならば (iv) とする。 そして c=(a+b)/2 として STEP2 へ進む。

STEP4:  $c \geq c^2 + c - 5$  の値を表示し、終了する。

- (a) (i)  $\sim$  (iv) には何を書き入れるべきか。適切な数あるいは代入文を答えよ。
- (b) 上記アルゴリズムに従って動作するプログラムをノートに解答せよ。ただし $c^2+c-5$ の値を求めるために関数を用いること。
- (c) このアルゴリズムが必ず終了する理由を述べよ。
- (d) アルゴリズムが終了した時点において  $|\beta c| \le 0.000001$  がみたされる理由を述べよ。
- (3) 次の問いに答え、ノートに解答せよ。
  - (a) 実数値関数 f(x) についてのマクローリンの定理を、条件も含めて正確に述べよ。
  - (b)  $e^{-2}$

$$1-2+\frac{2^2}{2!}-\frac{2^3}{3!}+\cdots+\frac{(-2)^n}{n!}$$

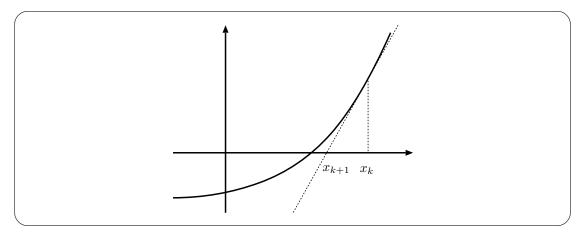
の差の絶対値が 0.000001 未満となるような n の条件を示せ。ただし、その際の説明には (a) を使い、数学的に書くこと。2 < e < 3 であることは用いてよい。

(c) (b) の条件をみたす n の値と、そのときの

$$1-2+\frac{2^2}{2!}-\frac{2^3}{3!}+\cdots+\frac{(-2)^n}{n!}$$

の値を表示するプログラムをノートに解答せよ。

- (4) 次の問いに答え、ノートに解答せよ。
  - (a)  $f'(x_k) \neq 0$  と仮定する。点  $(x_k,f(x_k))$  における曲線 y=f(x) の接線と x 軸の交点を  $(x_{k+1},0)$  とする(下図参照)。このとき  $x_{k+1}$  を  $x_k,f(x_k),f'(x_k)$  で表せ。



- (b) ニュートン法では、f(x)=0 の解に近いと考えられる初期点  $x_1$  を与え、上記のように数列  $\{x_k\}$  を作ったとき、どのようになることが期待されているかを答えよ。
- (5) 【Spyder などに打ち込まずに答えよ】次のプログラムを実行した際の表示を、プログラムを実行することなく自分の頭で考え、ノートに解答せよ。

```
a = [0]*3
for i in range(0,10):
    print(a)
    k = 2
    a[k] = a[k] + 1
    while a[k] == 3 and k > 0:
        a[k] = 0
        k = k - 1
        a[k] = a[k] + 1
```